

本校の5・6年生の学力検査の結果とこれからの取組について

今年4月に6年生に実施された「全国学力・学習状況調査」と、6月に5年生に実施された広島県の「基礎・基本定着状況調査」の結果を基に、その考察と本校でのこれからの取組についてご報告いたします。

6年生【全国学力・状況調査】  
各教科の平均正答率

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
全国	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
県	83.6	58.1	75.4	60.5	62.9
戸山	83.5	60.0	74.7	67.2	63.1

A 問題…主として知識に関する問題  
B 問題…主として活用に関する問題

定着状況（理科）  
基礎的な内容については、概ね定着しています。しかし、実験の結果から、そうなった理由を考えると、ある事象から予想されることを基に考察することに課題があります。

定着状況（算数）

基礎的な内容については、概ね定着しています。しかし、数量や図形の知識・理解の正答率が低く、場面と図とを関連づけて、二つの数量関係を表している図を選ぶことに課題があります。また、はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を書くことに課題があります。

定着状況（国語）

基礎的な内容については、概ね定着しています。しかし、「書くこと」において、目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くことに課題があります。また、資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表するように記述することに課題があります。

<これからの取組>

- ①示された資料をじっくりと読み取らせることで、質問したい内容を明確にして、文章に書くことができるように指導していきます。
- ②目的に応じて、必要なことを丁寧に整理させ、文章で簡潔に書けるように指導していきます。
- ③二つの数量関係を理解するために、図が関連づけられるよう指導していきます。
- ④筋道を立てて重さの求め方を考えるために、はかりで実測したり目盛りを読んだりする活動を取り入れた学習を行います。
- ⑤理科においては、予想し実験をしその結果から、なぜそうなったのかを授業の中で大切に指導していきます。

5年生【基礎・基本定着状況調査】

	国語	算数
県	75.8	75.0
市	74.1	72.9
戸山	73.8	73.3

定着状況（算数）

「図形」の定義や性質についてやや課題があります。「数量関係」の領域の乗法の結合法則を使って計算を簡単にする式を考え説明したりすることにも課題があります。

定着状況（国語）

「読むこと」で、場面の移り変わりや情景をして想像して読むことや、段落相互の関係を捉えることに課題があります。「書くこと」では、文章の構成を考えて書くことに課題があります。

<これからの取組>

- ①国語科では、物語全体のおおまかな展開をとらえさせ、根拠となる表現を基に気持ちを想像させ、また、交流させる場を多く設定し、自分の言葉で表現できるように指導していきます。読む活動や、段落の構成図や表などを用いて説明する活動を取り入れ、文章全体の構成や段落相互の関係を捉えさせるようにしていきます。
- ②算数科では、図形の特徴をとらえさせ、分類整理したり、図形の性質に基づいて作図させたり、掲示物を工夫し、図形の定義を視覚的に確認できるよう指導していきます。図や絵など手だてに立式に結びつけるなどの指導に取り組み、計算の仕方や、立式の理由など考え方を交流しあう場面を設けます。その中で、用語を正しく使って説明したり、順序立てて考えたりする力をつけていきます。

